パブリックコメントの募集結果概要について

■ 概要

- ・ 募集名称 「私が描く“とくしまの未来の姿”」
- ・ 募集期間 平成30年5月9日～6月30日
- ・ 募集内容 2060年頃（長期ビジョン）と2030年頃（中期プラン）の「とくしまの未来の姿」（徳島県の将来像）。テーマは自由。
- ・ 意見提出者数 86人（意見数106件）

■ 主な意見

1 長期ビジョン

テーマ	意見
広域的な移住	<ul style="list-style-type: none"> ・ 徳島の魅力である「田舎感」と「IT環境」を活かして、国内の移住者が過疎地を活性化し、海外からの移住者が徳島全体の技術を押上げていっている。 ・ 様々な文化を受け入れることのできる徳島で、諸外国の文化が融合し合い、新たな文化の発信地となっている。
若者が集まる街づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業が多く集まり、職業や働き方を選択できる。 ・ 地域産業が活性化し、徳島の魅力が全国に浸透している。 ・ 新幹線が通り、高速道路も発達している。 ・ 子育て支援が充実し、若い家族が住みやすい。
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車が運転できなくても買い物支援や公共交通ネットワークが充実し、日常生活を快適に送ることができる。
障がい者の社会進出への支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者も社会で活躍できる働き方が可能になっている。
自然豊かな徳島創り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他県では失われつつある自然が豊かな徳島に、多くの観光客が自然に触れ合うためにやってくる。 ・ 日本列島で徳島ほど海・川・山が身近に存在し、自然が守られ、動植物との共生が成り立っている土地はない。コウノトリも群れを成して生活している。
食を通じた働き口の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 徳島が食文化の代名詞 ・ 海外からの観光客が増加 ・ ロボットによる生産力向上と伝統製法の両立 ・ 人生100年時代の食糧確保
教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ どこに住んでいても多様な教育を受けられる環境が整っている。
徳島の観光	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年を通して楽しめる観光資源やツアーがつけられている。それにより観光客が増加している。観光客が1年を通して訪れるため、ホテル不足は解消されている。 ・ 市町村ごとに観光資源があるため、長期間にわたり徳島県に観光客が滞在することができる。2次交通が整備され、簡単にそれぞれの市町村へ訪れることができている。

2 中期ビジョン

テーマ	意見
技術革新	<ul style="list-style-type: none"> IoTやAIといった技術を使ったものが次々と徳島で実践されている。
男女共同参画	<ul style="list-style-type: none"> 性別に関係なく能力に応じて社会に参加できるよう、障壁となる社会システムが取り除かれているだけでなく、固定観念、偏見等からくる慣行もなくなっている。結果の平等の重視。
ライフスタイル	<ul style="list-style-type: none"> 当事者のライフスタイルや希望に沿った選択が徳島県では可能となっている。
福祉	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者がいきいきと過ごせる社会が実現している
貧困対策	<ul style="list-style-type: none"> 見返りを求めない、寄附文化が根付いている。チャリティマラソンなど、自治体主催の様々なイベントを寄附と結び付けて開催。 (例：寄附付き商品の販売、参加料の一部を寄附するなど)
防災対策強化	<ul style="list-style-type: none"> 地震、津波の予測機能が発達し、適切な高さの堤防が作られている。 日頃から防災リュックなどの準備を1人1人が行っている。
災害	<ul style="list-style-type: none"> 全ての山林、森林が私有林が適切に管理され、荒廃した山林はなくなっている。災害、温暖化の危険を回避。
自然エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 自然エネルギーの導入が進み、スマートな徳島県として世界に認知されている
食	<ul style="list-style-type: none"> 食の安全安心、食品ロスにも配慮したグルメ県